テ

見

タ

1

ŀ

思

Ŀ

~

ス

in Western China

中

= タ

V

タ ,

N

記

事 ガ シ

能 其 テ

n

女狀

ヲ

彷

彿

4 n 輓近

我

舶

來

櫻

童

,

ハ

室

7

窓下

花 n

ヺ

見.

n 種

似

n 7

ħì, 處 國

其

原

產

地 斯 也

~

實

西 1)

南

部 ナ 硩

支 キ

那

=

旣

两

曆

千

代

잺 タ 行

n

事實

₹/

テ

~ =

是等 現

草

花

風

+ =

治鏬

繇於百

ダ 瀉 ナ 行 ~ 瀉 n 丰 ., 除 力 3/ Ъ 3/ テ タ タ ヶ 力 ラ Þ رر 'n 家 7 **≥**⁄ 壆 叶 ナ 薬ト 代 デ がデ夏 5 滇 = ŀ ノこぎ(以前)スガ先頃 堂 , 云 ŀ v ۸ **≥**⁄ 鞱 言 ナ テ 名 必 ٧V 1 ィ ィ 德 ーズ之ヲ 4 間 單 ~\P テ サー ワ時 川 蒡 别 \hat{y} 湋 7 ワイダ草 州 現品 伊 Ž 叶 ハ = n 一代將軍 オ茶 勢 沂 牛 下 n 旪 來夥 (私 痢 ヺ 辟 瀉 効 午 ヲ " <u>ノ</u> ŀ Ĺ 代 デ Ė 啒 3/ ŀ 鄉 獻上 字 y 前 ŋ 書 叶 元 **≥**⁄ 里 ナ ٠, ヌ フ = 7 デ 來 出 ス n **≥**⁄ ッ 1 ァ # 津 ١, 7 サ Ø Þ ヲ ラ n # 力 , 젷 ゥ Ł = ヌ 下 v ⋾ ラ三 = 斯 デ ŋ 譯 叶 力 ヌ シ 見受 記 グラ云 斯 ナ 1 一代草 方漢 憶 ゥ ッ 何 = 云 タ ガ フ ヶ 榯 痢 ŀ 家 言 フ 7 璺 デ zř. ŀ ~ シ 凲 ij 云 1 力 Ŀ ス モ タ カ ラ 俥 フ 1 此 ナ ガ゛ ラ 俗 ~ , 誤 F., 副 送 ス ŀ = 1 ダ 7 ソ ン 14 ッ 12 IJ 7 ナ ヲ テ V ŀ ^ 往 ŀ n 貰 人 所 ヲ 云 n ŀ 新 Ħ 私 草 共 聞 書 フ ゝ 痢 ヲ ッ 草 吳 全 ガ = 紙 テ 1 ŀ げ 私 音 7 ァ 國 3 テ ガ ŋ h 事 y 記 ァ 兩 モ ハ デ 慨 Ħ. 3 0 ~ 漢 事. n ッ ク ス ス 嘆 畜 デ ガ ナ n 見 ガ 讀 見 Ė ソ 1 Æ 前 ガ 私 ラ 5 至 者 n v r 力 述 ح IJ ッ ヶ ŀ ハ 行 昔藩 げ 通 デ 炒 Ø 子 = n ア 年 堪 IJ = 'n Æ v 瀉 侯 , 向 0 ッ 時 N 代 ヂ ナ 時 ッ ヌ ハ 3 下 テ Ŀ ŀ 1 + デ 堂公() 牛蒡 5 問 信 ク 所 7 痢 ナ 游 ح 沙 デ ij ィ Ł 切 タ デ F, ガ ス コ ŀ ~ ダ y = 吐 セ ŀ

那 ŀ В 本 ŀ 觀 賞 櫻 堂

漸 = 至 7 # v 1) 間 = 行 ٠, v 欬 涿 **≥**⁄ = 都 テ 年 世 人 人 土 ハ 嗜 好 = 合致 ス N = 至 IJ Þ N 爲 メ 欰 臻 w 處 2 溫

横濱植物

會々

員

仲軒

主

久

內

凊

老

光 歐 往 景 洲 A 是 花 等 現 ERNEST 嵵 庯 ž 樱草 我國 移 栽 サ ヲ 以 ゥ v Wilson n タ テ 洋 N ŀ Æ 種 3 K 1 п 1 ナ 如 種 7 n 思 類 3 料 ŀ 歐洲 ス 文 w 獻 =

支那ト日本トノ觀賞櫻草

モノヲ除

キテ

ハ支那原産ノモ

ノ多ク其基

本

的

種類

次

四

種ニ過

ギ

ザルベ

シ即

+ Primula sinensis, Sabine

寒ざくら (Primula sinensis Sabine.) 培養品 W. B. Hemsley 氏著書ニ據ル

當ラヌト思フ ●是等ハ何レモ千八百年代ニ於テ支那ヨドANCH.(乙女ざくら稱、報春花名)是レナリニざくらき報春子ANCH.(乙女ざくら稱、報春花名)是レナリニざくらき報春でトスレドモ ●是等ハ何レモ千八百年代ニ於テ支那ヨ花トスレドモ (かんざくら、藏報春漢)P. obconica, Hance.(とさはざく(かんざくら、藏報春漢)P. obconica, Hance.(とさはざく

歐

送致セラ

タルモノナ

ルコト前述

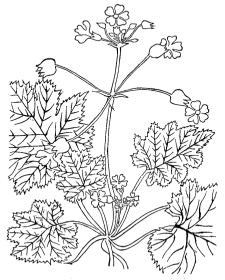
如

ッ

ŀ

ナ

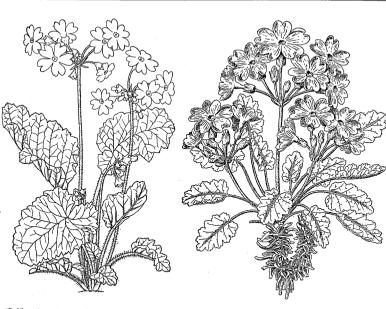
イダー氏ノ支那植物發見史ニ散見ス



藏報春(植物名實圖考、卷二十九)培養品 (Primula sinensis Sabine.)

支那ト日

本トノ觀賞櫻草



 $\mathbf{V}\mathbf{A}\mathbf{Y}$

ガ

雲南

テ發

≥⁄ 居 3

B

世

現

セ ン

タ

PERE 3

~

同

大 見

理

於 jν n

jν IJ

兒

y

後

世

IJ ø

シ

=

Curtis's Bot. Mag. tab. 6582.

常磐ざくら(Primula obconica Hance.) 寒ざくら(Primula sinensis Sabine.)野生品 Gard. Chron. n. 800, fig. 84. (1902).

領

HENRY FLETCHER HANCE先ヅ之ヲ

同年

春頭、

時

支那

宜

發見シテ英國

jν

=

始マ

年ノ

候佛 ごと送レ

宣

師

テ當代佛國 チ支那産

ラ

リ其出發

=

先

メ

Þ

後英國Kewノ植物

園 千

於テ種子ョ

y

WATTERS

ガ

疑

ナ

頭 底 往 時 比 7

野 生 至 ス y テ /明白 Æ ŋ 古來特 即 ジ ナ テ 草 チ y 同 東洋 3 有 ŀ H y 發 ス 支那 復

歸

モ

起 セ

IJ

y 更 現

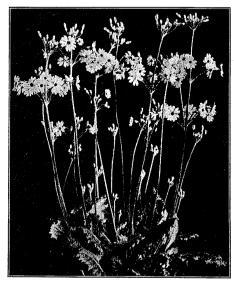
時

ラ ズ 知 ゙ラ テ其栽培 ヲ 產 現 江 今尚 年 武 田



報春花(植物名實圖考、卷二十九) Primula malacoides Franch.

春小さくら (Primula Forbesii Franch.) Curtis's Bot. Mag. tab. 7246.



乙女ざくら (Primula malacoides Franch.)

草形のめづらしきが ヲ Æ ズ 視 ヲ はや 抄 w 錄 ラ ガ 間 江 戶 品 ヲ ヲ 士 間 斯 ス

IJ

- シ光景ナリ、由是觀之我國 さくらさラノ 一ナルくりんさラハ當時英國ニ於 ラ「櫻草ノ女王」ニ擬セラレ其名聲

草といふ』ノ記事アリ依 never forget the morning on which a basketful of this charming plant was first brought to my door. Its flowers, remarkable above all others which were met with at this time, for its great beauty, was a new primrose. 寫生圖ヲ我家ニ遺シテ長逝セラレタリ ラレテ其栽培不振ナリト雖モ最近物故セラレタル東京麻布ノ本山佗吉氏ノ如キハ現代ニ於テ此方面ニ努力セ 然シテ如斯 なり云々』是ナリ、 札あり其を見物に行ものもありつてをもとめて其箱をかりて見るものありしがさまで行はれずこは享和 黒く漆をぬ henceforth take its place as the "Queen of the Primroses."フォーチューンノ此記事ハ武州神奈川附近ニ起 beyond all question 草ニ關シ面白キ ラ 地 a rich magenta colour, were arranged in tiers, one above anothor, on a spike nearly two feet in height. It was シ 植作れり其花を入れたるものをみしに小介を集め入る箱のやうにこまかにしきりたる箱を多く重て内外とも 一人ナル タル 生ジ に及ぶこれ 河白 花 | 且ッ人家ニ培ハル、地錦抄ニハ『白。紫咲分源氏いろ~~有日光と云はくれないなり。 り其内に コト尙吾人ノ記憶ニ新タ FORTUNE ノ著 コトアリ即チ支那ヨリ櫻草類ノ歐洲ニ入ラザル數年前即チ干八百六十三年英京倫敦ニ於ラ版 ノモノ今尚野外ニ見ルコト稀ニアリ rt 下 いかんてんをときて流し入たる格子の間ごとに櫻草の花 マタ地錦 the most beautiful species of the genus to which it belongs, and will, I doubt not, ・谷和泉橋通りに谷七左衞門といふ大番與 テ考フルニ此草モ亦當時多樣ノ園藝種ヲ認メラレ居タルモノナルベシ、 抄 Yedo and Peking ノ第一八五十六頁ニ次ノ記事アルコト是ナリ、But the plant |ノ如キハ『色むらささと雪白の二種有』ト記シテ其白花品ノ存在ヲ指摘シ居 ,ナル所ナリ同氏ハ在世中畫工ヲシァ其眞形ヲ描 こさくらさらニ似テ一種くりん草ト ●本邦特有ノさくらさうハ今日支那産 分 かあり 其 八の老母 ーッゝかんてんにさし各名を書たる 稱セラル、 花を植作る事を好み櫻草 カシメシ三百品許ノ なりの保童花の七季 いまなが いまれてリ山野水温 此處ニくりん Æ , = のころ 花 檿 と ラ 重ぎ濕 セ y

支那ト日本トノ觀賞櫻草

種子

半バヲ

超エ白質

膨

軟

シ

ァ

居ル此種冠

ノハ蒴

がノ開

テ行 植

ッ

グテ見

n

無數ノ蟻

方

=

搬

行 ŀ

Ŧ

ッ

ァ

ルヲ目撃

ž

B,

シ

テきけまんノ方ハ庭園圃

場等ニ最

モ普通

長サ二分內外デ炭黑色

稍飴

ラ

ŭ

あり(Tetramorium caespitum L.)トガ主ト

物

種子ヲ採收

セ

ヽル蟻ノ種子運搬

テ変戰國ノ一草花ガ其敵國ノ首都ニ於テ其屬ノ「女王」ニ擬セラレ居タル 泰 西 テ文外三年ニ 暄 3 力 ŋ ž 當 æ jν , 即 ナ チ n ヲ知 七隻ノ英艦 n = 足 ラン ト島津久光トガ 歟、 因 = 此 鹿兒島灣頭 書 , 出 版 セ ラ 砲 v 火ヲ変へ ₹⁄ 紀 = ŀ 元千八 Þ 百六 jν 子三 時 アナリ 车 乃 將 チ 軍家茂 知 n 此 時 世

)興味ヲソヽ ル蟻ノ種子運搬

すみれ(イアサク)つるにちにちくゎ(ヒラヘサペ)幷ニたかとうだい(ビハメト゚ラ)ナドノ諸屬植物ノ種冠(Caruncle)アル種子ガ蟻かんあふひ(テウミスロサ)ぶたのまんぢう(セラマサク)ゆきのはな(ロカストイ)おほやまふすま(スキチーし)血根草(トサトーし)くさのわう(同) タコトヲ左ニ記シテ見ョウト思 ノきけまん(Corydalis platycarpaMaxino.)トくさのわう(Chelidonium majusLinn.)トノ種子ニ就 ジニ運バレテ其種冠ガ彼等ノ食物ニナ ンガ爲メニ ガガ諸 びデ態 裂 = 3 | 方カラ蝟集シ來リ紙面 フ此兩植物ノ種子ニハ次ノ圖ニアル樣ニ其臍部ニ誠ニ不似合ニ ŀ 崩ノ リ地上ニ散落セ 種子ニ取附ケ ~ 多數 ルコトハ疾クニ西洋ノ植 ø 採リ來リ庭前 カノヤ ル許リノ新鮮 一飛散セ ・ウデ如 プ日向 ル種子ノ種冠 何 ナ 帝國駒場農園主 = n モ意味 モノニ就 = |物書ニモ見エ 新聞 紙 アリ氣 ヲ敷 テ觀 部 即ヲ卿へ(私キ其上ニ 見見 テ居ル所デアルガ予ハけ n 田 ト特ニ 工 中 n (各自必ぶ一個 乾カシ 顯著 貢 大キ テ親 デアッ テ置 予 ナ **≥** 種 ク實驗 ハ曾 テ其 1 タ暫 ッ 冠 テ 大 ガ 附 ŋ 此 サ シ

色ヲ帶ベル炭黑色デ全形圓味ガヽリシとびいろけあり(Formicina nigra L.)ト長サ一分未滿漆黑色長形短肢

シ

テ運搬シ

ッ

`

アッタ爾來此現象ニ與味ヲ感

2

)時々注

意

ノくろくまあり(Formica fusca japonica Morscn.)、くさのわらノ方ハ之ョリ更ニ小サキ種類デ長サー分餘、